

抗 U1 snRNP C (U1C) 抗体, ラット モノクローナル (4H12)

70-400 100 ug

スプライソソーム U1C タンパク質 は U1 small nuclear ribonucleoprotein particle (snRNP) の構成タンパク質であり、mRNA の前駆体 (pre-mRNA) スプライシングの開始、制御に重要な働きをしている。

U1C タンパク質 は U1 snRNP の 5' スプライス 部位への結合に必要であると考えられている。

この抗体は無血清培地で培養されたラット ハイブリドーマの培地から独自のクロマトなどのマイルドな方法によって精製されたものである。

用途:

1. ウェスタンブロッティング
2. 免疫細胞化学
3. 免疫組織化学 (凍結切片)
4. ELISA

抗原: リコンビナント GST-融合 マウス U1C タンパク質 (全長)

アイソタイプ: ラット IgG 2a kappa

形状: 精製モノクローナル抗体 (IgG) 1mg/ml in PBS, 50% glycerol, 濾過滅菌

反応特異性: ヒト、サル、マウス U1C。他の種はテストしていない。

保存: 4°C または -20°C で送付、-20°C で保存。

データリンク: Swiss-Prot [Q62241](#) (マウス), [P09234](#) (ヒト)

文献:

1. Muto Y *et al* "The structure and biochemical properties of the human spliceosomal protein U1C." *J Mol Biol* **341**: 185-198 (2004) PMID: [15312772](#)
2. Pomeranz Krummel DA *et al* "Crystal structure of human spliceosomal U1 snRNP at 5.5Å resolution." *Nature* **458**: 475-480 (2009) PMID: [19325628](#)

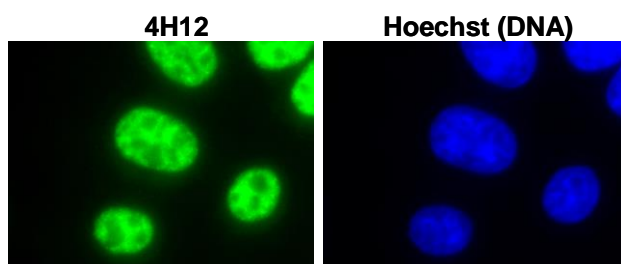


図1 4H12抗体によるL929(マウス)細胞における免疫染色

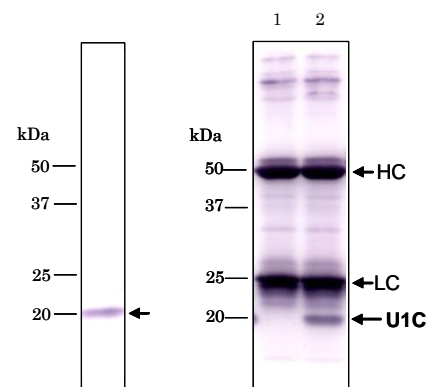


図2 4H12抗体を用いたウェスタンブロッティングによるHeLa細胞全抽出液におけるU1Cタンパク質の検出

図3 4H12抗体によるU1Cタンパク質の免疫沈降
 レーン1: 抽出液なし
 レーン2: HeLa細胞全抽出液
 HC, LC; IgG heavy & light chain